



新政会
坂井 英明
議員

観光資源について

質問 観光資源の発信、今後の戦略はどのように行っているか。

答弁 観光資源は、観光振興計画に示した通り、花と自然景観・食の魅力アップ・体験型観光があります。市民や団体との連携、イベントの開催、特産品開発、体験メニューの充実を行っています。

情報発信は、観光大使の活用、口コミ情報など臨機応変に実施しています。国際戦略は、国際交流員の活用、インターネット情報発信、市長自らPRを行って行きたい。

生活扶助について

質問 今年札幌で起きた姉妹の死亡事故を踏まえた相談体制。また、受給者の中で、働くことの出来る人への指導・対策について伺う。

答弁 生活相談のため来所した人に対し、面接相談員2人体制で、ライフライン等の相談者の生活状況を把握したうえで、他の法律や

施策の活用の助言、保護申請の意思の確認を行い、生活困窮者の把握は、民生委員・児童委員との連携、関係機関との情報の共有で対応しています。働くことの出来る人へは、求人情報の提供・就職活動への事前指導など「就労支援プログラム」や、ハローワークと共同の「福祉から就労支援事業」を活用しています。今後、民間の職業紹介業者の活用も検討しています。

震災がれきの受け入れについて

質問 中・北空知廃棄物処理広域連合への震災がれき受け入れ可否の検討について伺う。

答弁 広域連合構成市町長会議で、がれきが住民に対して安心・安全なものとする具体的に示せるのか、建設中の焼却炉が構成市町の廃棄物以外に受け入れる余力・能力があるかを総合的に判断できる状況が整い次第、改めて議論する必要があります。と意見交換を行いました。

質問 市長としてのスタンスは。

答弁 安全についての裏づけが必要と考えます。広域連合の判断によってはその後、市民へ説明をし、理解を得たうえで検討していきたい。



市民クラブ
大谷久美子
議員

公営住宅入居における規制について

質問 公営住宅入居の際、ペットの飼育が禁止されているが、去勢や他の人の迷惑にならないような飼いや、棟の指定など工夫すれば飼育可能になるのではないか。

答弁 容認した場合、トラブルが発生しやすく、壁や畳などが傷みやすい。公平性を考慮すると飼育禁止は妥当と考えます。社会情勢の変化に伴いペットがパートナー的存在になっていることは認識しています。公住法の改正や、他市の状況を考慮しながら検討します。



▲公営住宅

フッ化物洗口について

質問 使用されるフッ化ナトリウムは薬事法上劇薬となっている。溶液の作製を学校薬剤師に委ねられないのか。保管庫の確保はどうなっているか。

答弁 薬品の管理取り扱いは、使用する薬品を教育委員会が確認し安全確保の目的から学校歯科医師と協議し、学校薬剤師に計量・分包作業をしてもらう。ガイドブックの手順により教職員が洗口液を作ることに問題はありません。保管に適した場所に鍵付きの保管庫を整備します。

中学校の体育武道実施について

質問 今年度から武道が必修となり、柔道着の購入が必要となる。授業時数も少ないことから保護者負担の軽減を図るため、学校に備えることはできないのか。

答弁 安全で、効果的な武道実施のためには柔道着は必要で、個人の体格に合ったもの、衛生面などから今の段階では個人負担でお願いしたい。授業時数は年間10時間で、就学援助の方には助成します。